

山梨大学COCシンポジウム & 中間報告会

地域の活性化 ～ツーリズムによる取組みから～

日時 / 2016年9月29日(木) 13:30-17:20 (受付・開場 13:00-)

会場 / 山梨県立図書館

定員
100名

山梨大学は、「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、地域(山梨県)の活性化を図り、地域の発展に寄与することとしております。今回のシンポジウムは、ツーリズムをテーマとしました。九州国立博物館の開設から多くの見学者を集め、地域の活性化に貢献された三輪先生の講演と山梨大学が取組むツーリズムを紹介し、地域の活性化を考えます。また、後半は、農業分野を中心とする地域の課題を研究テーマとする研究成果等を発表します。観光、教育関係の皆様だけでなく、大学関係者、自治体職員、教育文化施設の職員、山梨大学との技術交流を検討される企業・団体の方など、様々な職種の方のご参加をお待ちしています。

COCシンポジウム (会場:多目的ホール)

- ◆ 13:30-13:35 主催者あいさつ
- ◆ 13:35-15:05 講演

「九州国立博物館が果たした 地域の活性化」

三輪 嘉六 氏 山梨大学客員教授、前九州国立博物館長
NPO法人文化財保存支援機構理事長



昭和13年2月生まれ。私立学校教員を経て、文化庁に勤務し、美術工芸課長、文化財鑑査官、日本大学文理学部教授、国立博物館九州国立博物館設立準備室長を歴任し、平成17年4月に九州国立博物館長に就任、平成27年3月まで同館長を務める。

- ◆ 15:10-16:10 シンポジウム

「ツーリズムによる里づくり -山梨大学の取組から-」

シンポジスト(ワインツーリズム)	奥田 徹 教授
” (ツーリズム)	大山 勲 教授
” (アグリツーリズム)	菊地 淑人 准教授

平成28年度COC事業中間報告 (会場:イベントスペース東)

- ◆ 16:15-17:15 ポスター発表・質疑応答(詳細裏面)
 - ◆ 地方創生支援教育研究プロジェクトの発表
 - ◆ 教育プログラムの紹介
 - ◆ 地域課題解決科目の活動紹介
- ◆ 17:15-17:20 閉会あいさつ